

脳動脈瘤塞栓術における 3TIP marker microcatheter Komichi の有用性

3TIP marker microcatheter Komichi for cerebral aneurysm embolization

赤路 和則¹⁾ 吉田 啓佑¹⁾ 木幡 一磨²⁾

1) 公益財団法人脳血管研究所 美原記念病院 脳神経外科

2) 公益財団法人脳血管研究所 美原記念病院 脳卒中科

〔目的〕脳動脈瘤塞栓術において、瘤内 coil により microcatheter の先端 marker が視認困難になることが多い。今回我々は、最先端から 5mm の位置に submarker を有する 3TIP marker microcatheter Komichi (Komichi) を用いた脳動脈瘤 coil 塞栓術を経験したので、その有用性を検討した。

〔方法〕当院で Komichi を用いて瘤内 coil 塞栓術を施行した脳動脈瘤 9 例を対象とした。破裂性瘤 2 例、未破裂瘤 7 例であった。部位は内頸動脈瘤 3 例、前交通動脈瘤 1 例、中大脳動脈瘤 2 例、脳底動脈瘤 2 例、椎骨動脈瘤 1 例であった。年齢は 21 歳から 78 歳、男性 4 例、女性 5 例であり、瘤の最大径は 3mm から 10mm であった。

〔成績、考察〕塞栓術手技は、大腿動脈 approach 1 例、右橈骨動脈 approach 8 例、stent assist technique 4 例、balloon assist technique 3 例、double catheter technique 1 例、Guidepost 使用 2 例であった。使用した Microguidewire は CHIKAI14 が 4 例、CHIKAI black14 が 1 例、Synchro SELECT soft が 3 例、風馬が 1 例であった。手技に伴う合併症はなかった。全例で誘導性に問題なく、coil 挿入時の kick back が少なく安定性に優れていた。Submarker の存在により、瘤内 coil 塊の中への microcatheter 誘導や coil 追加時、microcatheter の先端位置が推測できるため、安心感、安全性が向上、適切な coil 選択にも有用であった。

〔結論〕瘤内 coil で視認困難な microcatheter の先端位置が submarker により推測できるため、脳動脈瘤 coil 塞栓術において、3TIP marker microcatheter Komichi は有用であると考えられた。